

筑波大学 vs 国士館大学

11月2日(土)
11:30K.O.
フクアリ

10月23日(水)に慶大に敗れた影響が心配された筑波大だが、27日(土)のゲームでは専大に2-0の完封勝利。内容もほぼ完璧だった。

「全員いいプレーができたうえ、結果も伴ったのでよかった」(中山雅雄監督)

パスから連動して動くことができていた。

「自分たちが大切にしているプレーを、全員がしっかりとやれていたのがよかった」(中山監督)

大きな課題はないが、それでも今後の戦いを考えると、決定力の部分をさらに上げていくことが必要だ。

「一生懸命やるだけ。選手たちはある程度自信を持っている。それが油断につながらないようにしたい」(中山監督)

後半戦好調の国士大だが、前節は中大相手に2点のリードを奪われた。しかし、そこで負けないのが今の国士大だ。

「前半は相手主導だった。1点を返したあとに、前へ前へという積極的なサッカーができた」(細田三三監督)

前半はセカンドボールや寄せのところで相手より一歩出遅れていた。しかし、後半はその部分をしっかりと修正した。

「後半はテンポが一歩早くなったぶん、みんなが動き出してボールも動かせたので得点につながった。テンポよく早い展開で2ゴールできた」(細田監督)

試合の中での修正力、適応力もさすがだったが、課題はまだある。攻め急ぐあまり中央からの攻撃に偏り過ぎてしまい、なかなか崩すことができなかった。

後半戦で専大を破った好調2チームの対戦。軍配はどちらに!?

警告3回:上村岬、谷口彰悟、中野嘉大、若杉拓哉(以上筑波大)
前回の対戦:筑波大1-2(シュート数10-9)国士大

12. 三丸	13. 曾山	26. 佐々木	2. 石川
5. 車屋	14. 前原	10. 新村	3. 吉田
	3. 谷口		20. 松本
1. 神舎			21. 久保田
	7. 葺本		7. 橋本
17. 西村	19. 若杉	16. 平松	4. 今瀬
18. 早川	25. 武内	14. 進藤	12. 加藤

慶應義塾大学 vs 順天堂大学

11月2日(土)
13:50K.O.
フクアリ

10月23日(水)の筑波大戦は勝利を収め、ようやく本来の力を発揮できた慶大。前節の早大戦はあと一歩及ばず、1-2の敗戦となってしまったが、「前半の立ち上がりはウチのペースで試合ができた」(須田芳正監督)

そのまま無失点で前半を折り返したかったが、30分にCKから失点。さらに、後半5分に直接FKから失点と、セットプレーから2点を失った。

「このようなゲームでは、ミスしたチームが負ける」(須田監督)

後半40分に何とか一矢を報いたが、同点に追いつく力は残っていなかった。

流経大、日体大の状況にもよるが、この試合で負ければかなり苦しい状況に追い込まれるだけに、何としても勝たなければいけないゲームだ。

最近、なかなか勝ちきれない順大。完全に残留争いに飲み込まれてしまった。ここからどう打開するのか。前節の流経大戦は、いい立ち上がりから前半に2点を決めた。しかし、後半に2失点を喫し2-2のドロー。

「勝たなければいけない内容だったと思うが、その前の早大戦のゲームは何とか追いついて、今回は追いつかれ

た。この2試合でイーブンだと思う」(吉村雅文監督)

前半の早い時間帯にゴールをと試合に臨み、思惑どおり前半に2ゴール。そこまではプランどおりだったが、「後半が……。90分戦うことがサッカーなので、それができなかったことが反省点」(吉村監督)

せっかくだらいいサッカーをしてもそれが90分続かなかったり、勝利に結びつけられないことが多いだけに、何とか勝点につなげたい。

警告3回:久保飛翔、松下純士(以上慶大)、宮本和輝(順大)
前回の対戦:慶大2-6(シュート数5-7)順大

5. 増田	14. 川田	14. 長谷川	16. 吉永
22. 久保	30. 長尾		3. 清水
	20. 端山		6. 岡崎
12. 福本		11. 原田	8. 天野
	8. 松下		1. 川口
13. 望月	10. 武藤		15. 青木
		7. 和田	5. 新井
4. 保田	2. 岩田		13. 宮本

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.19 Division1



編集:加茂郁実 発行:関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ

筑波大が首位の専大を破る!

残り4試合と大詰めを迎えた「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」。前節は下位チームが奮闘したが、その模様を振り返ってみよう。

首位を快調に走っていた専大だが、この日は筑波大に終始ペースを握られる苦しい展開。後半33分に退場者を出すと、34分に失点。さらに36分にも失点し、終わってみれば0-2の完敗を喫してしまった。筑波大は攻撃陣に負傷者を抱えながらも、前の試合(慶大戦)の敗戦からうまく立て直した。

専大を追う2位の早大は、残留争いの渦中にある慶大との対戦。早大は前半30分、後半5分とゴールを奪い2点をリード。40分に1点差に詰め寄せられたものの、そのまま押しきって勝利を収めた。慶大はあと一歩及ばなかった。

中大と後半戦好調の国士大。前半34分、後半3分に得点を奪った中大が2点をリードしたが、ここで負けないのが国士大の強さだ。18分、38分に国士大も2点を奪って同点に追いつく、驚異の粘りを見せた。

後半戦勝ち星のない日体大と調子が上がってきた明大の対戦は、日体大が1-0の勝利。久しぶりの完封に選手の表情も明るかった。明大は後半27分に退場者を出したのが響いてしまった。

得点ランキング

仲川 輝人(専大)	12点
長澤 和輝(専大)	10点
榎本 大希(早大)	9点
和泉 竜司(明大)	8点
原田 開(順大)	8...

アシストランキング

橋本 拓門(国士大)	7アシスト
中野 嘉大(筑波大)	5アシスト
砂川 優太郎(中大)	5アシスト
仲川 輝人(専大)	5アシスト
以下4アシスト9名	

何とか調子を上げたい流経大と順大の両チームだが、順大が前半に2点をリード。しかし、後半2分に流経大が1点差に詰め寄せると、40分にはついに同点に追いついた。両者痛み分けのドローだが、順大は残留争いに巻き込まれてしまった。

桐蔭大と東洋大の対戦は、東洋大が前半23分、後半30分、36分にゴールを決めて3-0の快勝を飾った。

まだまだ専大の優位は動かないものの、優勝争いの行方が少し面白くなってきたといえる。それ以上に混沌としてきたのが残留争い。東洋大、慶大のほか日体大、順大も厳しい状況に陥り、この4チームの戦いから目が離せない。

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	筑波大	国士大	中大	明大	桐蔭大	流経大	順大	日体大	東洋大	慶大	試合数	勝数	敗数	引き分け	得点	失点	得失差	勝点
1	専大	201	201	201	502	401	602	203	201	1117	301	601	18	13	2	3	45	21	24	41	
2	早大	102	100	201	201	201	1117	300	001	1117	100	201	18	10	4	4	29	24	5	34	
3	筑波大	102	001	103	201	1117	1117	100	1117	301	302	505	102	18	8	5	5	33	23	10	29
4	国士大	102	102	201	201	102	001	1117	1117	301	201	1117	300	18	8	3	7	30	27	3	27
5	中大	205	102	200	102	201	102	101	101	200	001	1117	100	18	7	5	6	32	23	9	26
6	明大	104	102	000	201	103	201	302	000	401	000	001	202	18	7	5	6	28	24	4	26
7	桐蔭大	206	111	001	100	111	203	301	302	100	102	201	201	18	7	2	9	25	35	-10	23
8	流経大	302	003	111	111	000	000	103	001	201	100	301	301	18	5	7	6	19	26	-7	22
9	順大	102	100	103	500	002	104	203	000	1117	1117	602	201	18	5	5	8	32	30	2	20
10	日体大	111	111	203	100	100	000	001	200	111	301	102	102	18	5	5	8	22	28	-6	20
11	東洋大	103	001	505	102	111	100	201	001	202	103	201	201	18	4	4	10	27	37	-10	16
12	慶大	106	102	201	302	001	202	102	103	206	201	201	201	18	5	1	12	23	47	-24	16

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

悩むより、走り出そう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

専修大学 vs 中央大学

11月2日(土)
13:50K.O.
駒陸

首位を走る専大が筑波大に0-2で敗れ、これで後半戦2敗目を喫した。ゲーム内容も、

「失点が5、6点とならず、2点で収まったことが幸いだ」(源平貴久監督)

というように、危ないシーンはそれ以上に多かった。しかも、後半33分には後半途中から投入した選手が退場になるアクシデント。最後までリズムを取り戻すことができなかった。それでも2位の早大との差は7ポイント。優位は変わりなく、優勝へのカウントダウンが気になるところだが、

「まずは中大との試合にしっかりと勝たなければいけない。筑波大との試合は忘れて、1週間、準備していききたい」(源平監督)

今シーズン二度目のノーゴールだったが、アグレッシブな姿勢を失わないでいきたい。

「最後に後ろが耐えきれなかった」

試合後にガックリと肩を落としたのは中大・白須真介監督。国土大を相手に2点のリードを奪いながら、後半に2失点で2-2のドローに終わってしまった。

「イメージどおりできた部分もある」(白須監督)

というように、決して悪い試合内容ではなかった。そ

れだけに、どうしても勝点3が取りたかった試合だったが、チームは前を向いている。

「最後の部分での差を、もう一度ディフェンス面から修正してやっていければ、今、いい試合をしている専大を相手にも十分に戦えると思う。次に切り替えてやっていきたい」(白須監督)

自信を失わず、信念を持って戦いたい。

出場停止：中村駿介(専大)、岡崎亮平(中大) 警告3回：河津良一、小口大貴、仲川輝人、前澤甲気(以上専大)、岡崎亮平、細見諒(以上中大)
前回の対戦：専大5-2(シュート数12-9)中大

専大		中大	
12. 小口	7. 砂川	31. 高橋	
15. 篠崎	7. 長澤	3. 大和田	
8. 下田		8. 田辺	
1. 福島	6. 河津	11. 前澤	11. 川越
	25. 渋谷	1. シュミット	
14. 星野		4. 細見	
44. 中村	10. 仲川	12. 小出	
2. 北爪	14. 古橋	6. 高瀬	

流通経済大学 vs 東洋大学

11月2日(土)
11:30K.O.
江戸陸

再びメンバーを入れ替え、若手中心のメンバーで順大戦に臨んだ流経大。しかし、前半は相手に押される一方で、なかなかリズムを作れず2失点してしまった。

後半に入り、メンバーを入れ替えて調子を取り戻すと、「前へ前へと人もボールも流れ出したので、そこはよかったと思う」(中野雄二監督)

後半に2点を奪って同点に追いついた。

後半の立て直しは見事だったが、やはり問題は前半。

「積極的に前へ、前へと推進力を持っていった結果、カウンター攻撃をされてしまったのであれば、失点してしまっても得点を取れると思う。しかし、前半のようにセーフティーエリアで無難にやっていてミスをしているようじゃダメ」(中野監督)

それでも、こういった試合展開をしっかりと引き分けに持ち込めるだけの粘り強さはある。これを続けていきたい。

残留に必死の東洋大。前節は桐蔭大との対戦だったが、

「どちらに転ぶかわからない状況の中で、PKによる先制点と相手の退場があり、ゲームを優位に進められたという印象」(古川毅監督)

結果的には3-0で勝利を収めたが、途中、ピンチに陥り、失点してもおかしくない場面があっただけに、その部分は修正しなければいけないだろう。

ただ、調子は確実に上がってきている。「開幕戦以来の完封勝利はよかった。結果が自信につながっていくので、完封は非常に収穫」(古川監督)

とはいえ、順位はまだ11位で、10位との差は4ポイントと、厳しい戦いがまだまだ続く。これを持続させることが重要だ。

前回の対戦：流経大1-0(シュート数10-10)東洋大

流経大		東洋大	
37. 鈴木	33. 山岸	11. 黒須	7. 馬渡
39. 塚川			6. 石川
40. 川崎雄		10. 桑田	
1. 八巻	6. 富田	18. 田上	13. 川森
	4. 郡司	1. 浅沼	
10. 椎名		8. 年森	
5. 川崎裕		3. 鈴木	
35. 佐々木	7. 中山	29. 仙頭	16. 筑井

日本体育大学 vs 桐蔭横浜大学

11月2日(土)
13:50K.O.
ゼットエー

後半戦に入ってから一度も勝てていない日体大だったが、前節の明大戦は1-0の勝利。ずっと失点が続いていたが、そのディフェンス面も完封と、ようやく日体大らしさが出た。

「これが日体大のいいところなので、今後も継続できたいと思う。今まで簡単にやられている部分があった。粘り強く、守備がしっかりとできていたところがよかった」(倉又寿雄監督)

しかし、試合内容が完全によくなったわけではない。「後半になって、自分たちがボールを保持することができない時間帯が多くなってしまった。相手が10人になっても、押し込まれる時間が多くなってしまった。もっと自分たちの時間を作りたい」(倉又監督)

まだまだ残留に向けて勝点が必要だ。

前半23分にはPKから先制点を献上し、37分には退場者まで出すアクシデントで、東洋大に0-3の敗戦を喫してしまった桐蔭大。

「数的不利の状態でも点を取れるチャンスはあった。正直、ゲームプランはめちゃくちゃになったが、引き分けや勝ちの可能性もあったのではないかなと思わせてくれた」(八城修監督)

しかし、そこで決めきることができず、結果は無得点。とはいえ、修正すべきはやはり守備の部分だろう。

「我慢強さが足りない。個々の守備の部分で、簡単にPK献上や警告になってしまう理由は対応のまずさにあると思う。そこを意識して改善したい」(八城監督)

インカレ出場権を獲得するためには、負けられない試合が続く。

出場停止：福島翔太郎、古澤慶太(桐蔭大) 警告3回：阿部潤、宮内啓汰(以上日体大)、大泉和也、山根視来(以上桐蔭大)
前回の対戦：日体大0-1(シュート数9-6)桐蔭大

日体大		桐蔭大	
2. 宮内	15. 阿部	8. 山崎	18. 剣
4. 菊地		33. 田内	
10. 稲垣		5. 金子	
21. 大野	9. 田中	11. 北脇	10. 坪井
	30. 宇羽井	1. 島崎	
6. 石井		35. 大野	
5. 中西		3. 香西	
24. 横野	7. 梅村	9. 大泉	16. 長谷

早稲田大学 vs 明治大学

11月2日(土)
13:50K.O.
江戸陸

「お互いのチームの強い思いがぶつかり合う、熱いゲームだった」(早大・古賀聡監督)

前節の慶大戦は2-1の勝利。得点はCK、FKからと、いずれもセットプレーによるものだった。終盤に差し掛かり、1試合も負けられない状況の現在、セットプレーから点が取れるという武器は大きい。一方で、「クロスとリスタートの部分での守備では、相手に先に触れられる場面がかなりあった」(古賀監督)

というように、一時期の安定した守備が見られない。修正していかなければいけないだろう。

専大との勝点差は7ポイント。この試合で負けてしまうと、同時刻に開催されている試合で専大が勝った時点で優勝が決まってしまう。

「厳しい状況ではあるが、勝点3を勝ち取りたい」(古賀監督)

前節、残留争いの渦中にある日体大に0-1の敗戦を喫してしまった明大。17節の中大戦ではいい戦いができていただけに、まさかの展開だったが、

「試合前の天候やグラウンドコンディションに合わせたサッカーを強調しすぎてしまって、選手には申し訳なかった。采配ミスが最後までゲームリズムを生みだせな

かった。私自身、すごく反省している」(神川明彦監督)

前半21分に先制点を奪われると、その後も思うようにリズムを取り戻せず、最後までゴールを奪うことができなかった。とはいえ、

「日体大戦のゲームが悪いとは思わない。もう一度、自分たちのサッカーをするように準備すれば問題ない」(神川監督)

あとは、決定力の部分を上げていきたい。

出場停止：小出悠太(明大) 警告3回：中田航平(早大)、和泉竜司(明大)
前回の対戦：早大2-1(シュート数8-8)明大

早大		明大	
6. 三竿	8. 近藤洋	18. 秦	12. 室屋
3. 金沢	25. 宮本	33. 苅部	14. 松藤
4. 中田		6. 水野	
21. 阿部			1. 三浦
18. 小松		16. 差波	
2. 奥山	10. 榎本	8. 和泉	3. 山越
26. 西山	7. 近藤貴	27. 石原	15. 高橋